

# プログラム

## 特別講演

第1日目 1月31日(木) 10:50~11:50

第1会場 [アネックス1階 昴の間]

座長: 原田 孝則 (一般財団法人残留農薬研究所)

『The Role of the Toxicologic Pathologist in the Post-genomic Era』..... 37

Dr. Robert R. Maronpot Raleigh, North Carolina

## ランチョンセミナー 1

第1日目 1月31日(木) 12:00~13:00

第1会場 [アネックス1階 昴の間]

座長: 高橋 道人 (病理ピアレビューセンター)

協賛: ハーランラボラトリージャパン

『マウス長期発癌試験における腫瘍標的臓器を考える』

岩田 聖 ハーランラボラトリーズスイス

## ランチョンセミナー 2

第2日目 2月1日(金) 11:55~12:55

第1会場 [アネックス1階 昴の間]

座長: 高橋 道人 (病理ピアレビューセンター)

協賛: ハンティンドンライフサイエンス

『Are environmental chemicals causing a decline in human reproductive health?』

Dr. Dianne Creasy Huntingdon Life Sciences

**シンポジウム 1**

第1日目 1月31日(木) 15:30~17:30

第1会場 [アネックス1階 昴の間]

座長：中江 大 (東京都健康安全研究センター)

小川久美子 (国立医薬品食品衛生研究所)

- SS-1-1 Transgenic Animals for Evaluation of Carcinogenicity . . . . . 41  
 ○Gary A. Boorman, DVM, PhD<sup>1)</sup>, Victoria Laast<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>Covance Laboratories Inc., Chantilly Virginia, USA,  
<sup>2)</sup>Covance Pharmaceutical R&D (Shanghai) Co., Ltd., Shanghai, China
- SS-1-2 Contemporary NTP Toxicity and Carcinogenicity Testing Strategies. . . . . 42  
 ○Susan A. Elmore, MS, DVM, DACVP, DABT, FIATP  
 National Toxicology Program/National Institute of Environmental Health Sciences
- SS-1-3 Genomics Strategies in National Toxicology Program Toxicity and Carcinogenicity Testing. . . . 43  
 ○Mark J. Hoenerhoff, DVM, PhD, DACVP  
 Investigative Pathology Group, Cellular and Molecular Pathology Branch  
 Division of the National Toxicology Program  
 National Institute of Environmental Health Sciences  
 National Institutes of Health
- SS-1-4 Regulatory Requirements, Advantages, Disadvantages, and Relevance of Dogs,  
 Monkeys and Small Models in Toxicity Testing . . . . . 44  
 ○Klaus Weber, PhD, DVM, MSBiol  
 AnaPath GmbH, Buchsweg 56, 4625 Oberbuchsitzen, Switzerland

**シンポジウム 2**

第2日目 2月1日(金) 13:00~14:40

第1会場 [アネックス1階 昴の間]

座長：渋谷 淳 (東京農工大学大学院農学研究院)

寺西 宗広 (第一三共株式会社 安全性研究所)

- SS-2-1 動物モデルによる環境応答研究の展開. . . . . 45  
 ○山本 雅之  
 東北大学 医学系研究科
- SS-2-2 免疫不全マウスを用いたヒト化肝臓モデルの開発 . . . . . 46  
 ○末水 洋志  
 公益財団法人 実験動物中央研究所
- SS-2-3 ゲノム毒性と幹細胞制御：毛の老化の謎に迫る . . . . . 47  
 ○西村 栄美  
 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 幹細胞医学分野
- SS-2-4 国際的動物実験代替法(3Rs)の新たな展開. . . . . 48  
 ○黒澤 努  
 大阪大学医学部  
 (前日本動物実験代替法学会 会長)

## 一般口演 I

第1日目 1月31日(木) 9:00~10:40

第1会場 [アネックス1階 昴の間]

### バイオマーカー

座長：大石 裕司（アステラス製薬株式会社）

福田 良（武田薬品工業株式会社）

- 01\* 薬剤誘発性腎障害モデルラットを用いた尿、血液及び腎臓組織中の腎バイオマーカー検討 . . . . . 51  
○桑田 和倫、中村 伊都子、井手 美佳、川井 康司、佐藤 寛子、西川 智美、田中 雅治  
田辺三菱製薬(株) 研究本部 安全性研究所
- 02\* シクロホスファミド誘発間質性肺炎における非臨床バイオマーカーとしてのSP-Dの有用性 . . . 51  
○鈴木 倫、大須賀 勇、鈴木 勝也、安藤 稔、永田 百合子、畑 千恵、栃内 亮太、内田 和美、  
小林 稔秀、角 将一、金子 公幸  
(株)ヤクルト本社 中央研究所 安全性研究部
- 03 膀胱発がん物質の早期検出microRNAマーカーの検討 . . . . . 52  
○魏 民、山野 荘太郎、加藤 実、藤岡 正喜、梯 アンナ、神吉 将之、鰐淵 英機  
大阪市立大学大学院 医学研究科 都市環境病理学
- 04 ラット肺がんモデルにおける血清診断マーカー . . . . . 52  
○深町 勝巳<sup>1)</sup>、大嶋 浩<sup>1)</sup>、二口 充<sup>1)</sup>、津田 洋幸<sup>2)</sup>、酒々井 眞澄<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科 分子毒性学、<sup>2)</sup>名古屋市立大学 津田特任教授研究室

### モデル動物・神経

座長：中山 裕之（東京大学）

細川 暁（エーザイ株式会社）

- 05\* NASHモデル検討実験に使用したKK-A<sup>y</sup>マウスの肝臓にみられた骨髄組織を伴う骨形成 . . . . . 53  
○押方 孝文、菅野 剛、川迫 一史、可徳 小四郎、満石 三喜男、小林 梓、浜村 政夫  
三菱化学メディエンス株式会社 試験研究センター 病理研究部
- 06\* ラット多発性硬化症モデルの症状発現経過と病理組織学的解析 . . . . . 53  
○菊地 聡美、仲野 善久、武内 隆志、宮内 慎、松本 茂樹、中尾 一成  
持田製薬創薬研究所
- 07\* Ptch1ヘテロノックアウトマウスにおけるソニックヘッジホッグ阻害剤Cyclopamineの  
生後暴露による髄芽腫発生抑制作用 . . . . . 54  
○松尾 沙織里<sup>1)</sup>、高橋 美和<sup>1)</sup>、井上 薫<sup>1)</sup>、入江 かをる<sup>1)</sup>、田村 圭<sup>1)</sup>、小川 久美子<sup>1)</sup>、西川 秋佳<sup>2)</sup>、  
吉田 緑<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター
- 08 成熟ラットにおける神経毒性試験のための脳の採取方法(中枢神経系評価のコンセプト) . . . . . 54  
○Maslej Peter、Boros Gábor  
CiToxLAB Hungary Ltd.

一般口演 I

第1日目 1月31日(木) 14:45~15:25

第1会場 [アネックス1階 昴の間]

新規試験法

座長：今井田 克己 (香川大学)

- O-09\* ラットにおける非遺伝毒性肝発がん物質と毒性フェノタイプを予測できる  
遺伝子マーカーセットの探索.....55  
○神吉 将之<sup>1)</sup>、魏 民<sup>2)</sup>、梯 アンナ<sup>2)</sup>、山野 莊太郎<sup>2)</sup>、鱈淵 英機<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>アステラス製薬(株) 安全性研究所、<sup>2)</sup>大阪市立大学 医学研究科 都市環境病理学
- O-10\* *gpt delta*ラットを用いた2-AAFの肝発がん性および変異原性の包括的評価モデルの検討 .....55  
○奥村 真衣、魏 民、山野 莊太郎、藤岡 正喜、多胡 善幸、北野 光昭、鱈淵 英機  
大阪市立大学大学院 医学研究科 都市環境病理学
- O-11\* *gpt delta*ラットを用いた短期発がん物質検出モデルの開発 .....56  
○松下 幸平<sup>1)</sup>、石井 雄二<sup>1)</sup>、高須 伸二<sup>1)</sup>、黒田 顕<sup>1)</sup>、木島 綾希<sup>1)</sup>、能美 健彦<sup>2)</sup>、小川 久美子<sup>1)</sup>、  
梅村 隆志<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター

## 一般口演 II

第2日目 2月1日(金) 9:00~10:20

第1会場 [アネックス1階 昴の間]

### 幹細胞

座長：代田 欣二 (麻布大学)

- O-12\* 6-propyl-2-thiouracil (PTU) のラット発達期暴露による甲状腺機能低下を介したニューロン・グリア発達障害に関連する遺伝子発現プロファイルの異なる脳部位での同定..... 56  
○白木 彩子<sup>1,2)</sup>、赤根 弘敏<sup>1)</sup>、齋藤 文代<sup>3)</sup>、赤堀 有美<sup>3)</sup>、今田中 伸哉<sup>3)</sup>、板橋 恵<sup>1,2)</sup>、王 リユン<sup>1)</sup>、大石 巧<sup>1)</sup>、鈴木 和彦<sup>4)</sup>、三森 国敏<sup>1)</sup>、渋谷 淳<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>東京農工大 獣医病理、<sup>2)</sup>岐阜大 院 連合獣医、<sup>3)</sup>化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所、<sup>4)</sup>東京農工大 毒性
- O-13\* Dextran sulfate sodium (DSS) 誘発性大腸炎の粘膜修復過程における腸管上皮幹細胞の役割... 57  
○村井 厚子<sup>1)</sup>、平田 暁大<sup>2)</sup>、高松 学<sup>3)</sup>、久野 壽也<sup>3)</sup>、柳井 徳磨<sup>1)</sup>、原 明<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup>岐阜大学 大学院連合獣医学研究科 獣医病理、<sup>2)</sup>岐阜大学 生命科学総合研究支援センター 動物実験、<sup>3)</sup>岐阜大学 大学院医学研究科 腫瘍病理
- O-14\* マウス肺扁平上皮癌モデルにおける気管支肺胞幹細胞のcancer initiating cellとしての可能性... 57  
○山野 莊太郎、魏 民、藤岡 正喜、梯 アンナ、岡部 恭子、武下 正憲、鱈淵 英機  
大阪市立大学大学院 医学研究科 都市環境病理学

### 代替法・モデル動物

座長：古川 賢 (日産化学工業株式会社 生物科学研究所)

- O-15 眼刺激性評価のための牛角膜を用いた混濁度および透過性試験法 (BCOP法) 一病理組織学的検査を中心に..... 58  
○古川 正敏<sup>1)</sup>、六川 潤美<sup>1)</sup>、榊原 隆史<sup>1)</sup>、伊藤 浩太<sup>1)</sup>、藤平 司郎<sup>1)</sup>、平賀 武夫<sup>2)</sup>、小島 肇<sup>3)</sup>、松浦 正男<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>(株)化合物安全性研究所、<sup>2)</sup>酪農学園大学 獣医学群、<sup>3)</sup>国立医薬品食品衛生研究所
- O-16\* ミニブタの萎縮した精細管の比率及びライディッチ細胞の面積率..... 58  
○伊藤 格、鈴木 信介、松下 久美、吉島 賢一、小池 恒雄、矢吹 慎也、今井 順、木村 均  
(株)日本バイオリサーチセンター
- O-17\* NOD/Shi-scid, IL-2R $\gamma$ nullマウスを用いたヒト甲状腺移植モデルの有用性..... 59  
○藤井 悦子<sup>1)</sup>、Chen Yu Jau<sup>2,3)</sup>、加藤 淳彦<sup>1)</sup>、渡邊 剛<sup>1)</sup>、加藤 千恵<sup>1)</sup>、三好 昌夫<sup>1)</sup>、林 修次<sup>1)</sup>、松原 亨<sup>1,2,3)</sup>、大西 保行<sup>4)</sup>、鈴木 雅実<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>中外製薬(株)、<sup>2)</sup>ファーマロジカルズ・リサーチ、<sup>3)</sup>中外ファーマボディ・リサーチ、<sup>4)</sup>(公財)実験動物中央研究所

## ポスター発表 I

第1日目 1月31日(木) 13:20~14:40

第2会場 [本館3F ジュピター]

## 肝

座長：渡邊 厚（旭化成ファーマ株式会社）

- P-01 ラットにおける2-エトキシ-2-メチルプロパンの肝臓発腫瘍性機序の解明..... 63  
○梯 アンナ<sup>1)</sup>、萩原 昭裕<sup>2)</sup>、今井 則夫<sup>2)</sup>、魏 眠<sup>1)</sup>、長野 嘉介<sup>3)</sup>、福島 昭治<sup>4)</sup>、鰐淵 英機<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>大阪市立大学 大学院医学研究科 都市環境病理学、<sup>2)</sup>DIMS医科学研究所、<sup>3)</sup>長野毒性病理学コンサルティング、  
<sup>4)</sup>中央労働災害防止協会、日本バイオアッセイ研究センター
- P-02 チオアセトアミド(TAA)誘発ラット肝硬変におけるGST-P陽性と陰性病変における異なるマクロファージの出現..... 63  
○Kavindra Wijesundera、井澤 武史、市川 智彩、Anusha Tennakoon、村上 宙、Hossain MD. Golbar、桑村 充、山手 丈至  
大阪府大 獣医病理
- P-03\* α-naphthylisothiocyanate (ANIT)により誘発したラットの急性と慢性胆管病変におけるマクロファージと筋線維芽細胞の特性比較..... 64  
○Golbar Hossain M.、井澤 武史、市川 智彩、田中 美有、桑村 充、山手 丈至  
大阪府立大学 獣医病理学教室

## 腎

座長：鈴木 雅実（中外製薬株式会社 富士御殿場研究所）  
下井 昭仁（株式会社イナリサーチ）

- P-04 *gpt delta* マウスを用いた臭素酸カリウムの*in vivo*変異原性の検索とニトリロ三酢酸併用投与の影響..... 64  
○石井 雄二<sup>1)</sup>、木島 綾希<sup>1)</sup>、高須 伸二<sup>1)</sup>、松下 幸平<sup>1)</sup>、黒田 顕<sup>1)</sup>、児玉 幸夫<sup>2)</sup>、小川 久美子<sup>1)</sup>、梅村 隆志<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立衛研 病理部、<sup>2)</sup>国立衛研 毒性部
- P-05 合成抗菌剤ニトロフラントインの化学構造に依存した*in vivo*変異原性..... 65  
○木島 綾希、石井 雄二、高須 伸二、松下 幸平、黒田 顕、小川 久美子、梅村 隆志  
国立医薬品食品研究所 病理部
- P-06\* Renin阻害によるOsborne-Mendelラットの腎糸球体足細胞障害抑制効果に関する研究..... 65  
○坂下 悠<sup>1)</sup>、安野 恭平<sup>1)</sup>、荒木 さおり<sup>1)</sup>、馬場 智成<sup>1)</sup>、小林 亮介<sup>1)</sup>、上家 潤一<sup>2)</sup>、代田 欣二<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup>麻布大学 生物科学総合研究所、<sup>2)</sup>麻布大学 獣医学部 病理学研究室
- P-07\* Puromycin aminonucleosido腎症ラットにおけるWT1陰性足細胞の評価..... 66  
○菅原 豪<sup>1)</sup>、若林 伸<sup>2)</sup>、檜村 茜<sup>2)</sup>、上家 潤一<sup>2)</sup>、代田 欣二<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup>麻布大学 生物科学総合研究所、<sup>2)</sup>麻布大学 獣医学部 病理学研究室

## 前立腺

座長：吉見 直己（琉球大学大学院）

澤本 修（株式会社大塚製薬工場 研究開発センター）

- P-08 NADPH oxidase阻害剤apocyninによるラット前立腺発癌抑制効果 ..... 66  
○鈴木 周五<sup>1,2)</sup>、佐藤 慎哉<sup>1)</sup>、龍 訥<sup>1)</sup>、Punfa Wanisa<sup>1)</sup>、白井 智之<sup>1)</sup>、高橋 智<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>名古屋市立大学 大学院 医学研究科 実験病態病理学、<sup>2)</sup>名古屋市立東部医療センター 病理診断科
- P-09\* HDAC阻害剤OBP-801による前立腺癌予防作用の検討 ..... 67  
○佐藤 慎哉、鈴木 周五、内木 綾、龍 訥、白井 智之、高橋 智  
名古屋市立大学大学院 医学研究科 実験病態病理
- P-10 中釜法PhIP投与による誘発前立腺発がんにおける去勢の修飾作用 ..... 67  
○杉江 茂幸<sup>1)</sup>、田中 卓二<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>朝日大学、<sup>2)</sup>東海細胞研究所
- P-11 PFA-AMeX法における組織形態保持と核酸品質の関係：LCM / DNA microarray analysisへの  
応用 ..... 68  
○加藤 淳彦<sup>1)</sup>、渡邊 剛<sup>1)</sup>、Chen Yu<sup>2)</sup>、芦原 基起<sup>1)</sup>、寺島 弘道<sup>1)</sup>、水野 英明<sup>1)</sup>、加藤 千恵<sup>1)</sup>、  
三好 昌夫<sup>1)</sup>、林 修次<sup>1)</sup>、足立 健児<sup>1)</sup>、伊藤 恒夫<sup>1)</sup>、松原 亨一<sup>1,2)</sup>、鈴木 雅実<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>中外製薬(株) 研究本部、<sup>2)</sup>PharmaLogicals Research Pte. Ltd.

## 大腸

座長：山口 格（協和発酵キリン株式会社）

田川 義章（株式会社三和化学研究所）

- P-12 マウス大腸陰窩上皮の遺伝子損傷刺激に対する応答 ..... 68  
○塚本 徹哉  
藤田保健衛生大学 医学部 病理診断科
- P-13\* カロリー制限食及び高脂肪食を投与したLETO及びOLETFラット肝臓及び大腸粘膜の  
マイクロアレイ解析 ..... 69  
○高須 千絵、泉 啓介  
徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 環境病理
- P-14 Minマウスにおける大腸ポリープ発生に対する高脂肪食の影響 ..... 69  
○河部 真弓<sup>1)</sup>、沼野 琢旬<sup>1,2)</sup>、古川 文夫<sup>1)</sup>、中島 弘尚<sup>1)</sup>、田村 幸太郎<sup>3)</sup>、大石 裕司<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup>(株)DIMS医科学研究所、<sup>2)</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科 分子毒性学分野、<sup>3)</sup>アステラス製薬(株)
- P-15\* *gpt delta*マウスにおける高脂肪食摂取の自然発生遺伝子突然変異に与える影響 ..... 70  
○高須 伸二<sup>1)</sup>、石井 雄二<sup>1)</sup>、松下 幸平<sup>1)</sup>、黒田 顕<sup>1)</sup>、木島 綾希<sup>1)</sup>、児玉 幸夫<sup>2)</sup>、小川 久美子<sup>1)</sup>、  
梅村 隆志<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 毒性部

## 呼吸器

座長：箱井加津男（大鵬薬品工業株式会社 徳島研究センター）  
河部 真弓（株式会社DIMS医科学研究所）

- P-16\* 胎生期Perfluorooctane sulfonate (PFOS) 暴露ラットの4-Methylnitrosamino-1-(3-pyridyl)-1-butanone (NNK) 誘発肺がんへの修飾に関する検討..... 70  
○本橋 昌也<sup>1)</sup>、和久井 信<sup>1,2,4)</sup>、田中 勲<sup>1)</sup>、白井 勝<sup>1)</sup>、大山 典子<sup>3)</sup>、武藤 朋子<sup>3)</sup>、鷹橋 浩幸<sup>2)</sup>、羽野 寛<sup>2)</sup>、遠藤 仁<sup>4)</sup>  
<sup>1)</sup>麻布大学 獣医学部 比較毒性学研究室、<sup>2)</sup>東京慈恵会医科大学 病理学研究室、<sup>3)</sup>(株)薬物安全性試験センター、<sup>4)</sup>(株)ジェイファーマ
- P-17\* マウス肺発がん過程におけるロサルタンの修飾作用の検討 ..... 71  
○岡部 恭子、山野 莊太郎、魏 民、藤岡 正喜、謝 曉利、申田 昌彦、鱈淵 英機  
大阪市大・院・医・都市環境病理学
- P-18 メチルアミンの13週間吸入曝露によるラット及びマウスの鼻腔病変 ..... 71  
○高信 健司<sup>1)</sup>、妹尾 英樹<sup>1)</sup>、梅田 ゆみ<sup>1)</sup>、片桐 卓<sup>1)</sup>、長野 嘉介<sup>2)</sup>、相磯 成敏<sup>1)</sup>、福島 昭治<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター、<sup>2)</sup>長野毒性病理コンサルティング
- P-19 メチルアミンの104週吸入曝露によるラット・マウスの鼻腔病変 ..... 72  
○妹尾 英樹<sup>1)</sup>、高信 健司<sup>1)</sup>、梅田 ゆみ<sup>1)</sup>、片桐 卓<sup>1)</sup>、長野 嘉介<sup>2)</sup>、相磯 成敏<sup>1)</sup>、福島 昭治<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター、<sup>2)</sup>長野毒性病理コンサルティング

## ナノマテリアル

座長：小野寺博志（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構）  
相磯 成敏（日本バイオアッセイ研究センター）

- P-20 ラットにおける多層カーボンナノチューブによる中皮腫誘発性に繊維長が及ぼす影響 ..... 72  
○坂本 義光<sup>1)</sup>、小縣 昭夫<sup>1)</sup>、西村 哲治<sup>2)</sup>、広瀬 明彦<sup>3)</sup>、猪又 明子<sup>1)</sup>、中江 大<sup>4)</sup>  
<sup>1)</sup>東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部 生体影響研究科、<sup>2)</sup>帝京平成大学 薬学部、<sup>3)</sup>国立衛研 総合評価研、<sup>4)</sup>東京農大
- P-21 多層カーボンナノチューブ(MWCNT)の13週間吸入曝露によるラットの呼吸器毒性 ..... 73  
○梅田 ゆみ、高信 健司、妹尾 英樹、片桐 卓、相磯 成敏、福島 昭治  
中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター
- P-22 多層カーボンナノチューブの肺ばく露2週間および52週間経過後の影響 ..... 73  
○酒々井 眞澄<sup>1)</sup>、沼野 琢旬<sup>1)</sup>、深町 勝巳<sup>1)</sup>、二口 充<sup>1)</sup>、津田 洋幸<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>名古屋市立大学 大学院医学研究科 分子毒性学分野、<sup>2)</sup>名古屋市立大学 津田特任研究室
- P-23 ナノ材料の吸入曝露後、長期間経過して発生するリスクの背景となる肺組織の検索 ..... 74  
○二口 充<sup>1)</sup>、徐 結苟<sup>2)</sup>、深町 勝巳<sup>1)</sup>、津田 洋幸<sup>2)</sup>、酒々井 眞澄<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>名古屋市立大学大学院医学研究科 分子毒性学分野、<sup>2)</sup>名古屋市立大学 津田特任研究室

## 毒性試験

座長：林 新茂 (三栄源エフ・エフ・アイ株式会社)  
岩崎 省吾 (杏林製薬株式会社)

- P-24\* ラットを用いた3-MCPDエステル化合物の13週間亜慢性毒性試験 . . . . . 74  
○大波 冴子<sup>1)</sup>、Cho Young-Man<sup>1)</sup>、豊田 武士<sup>1)</sup>、吉田 緑<sup>1)</sup>、西川 秋佳<sup>2)</sup>、小川 久美子<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター
- P-25\* F344ラットにおけるグリシドール脂肪酸エステルの13週間反復投与毒性試験 . . . . . 75  
○豊田 武士<sup>1)</sup>、Cho Young-Man<sup>1)</sup>、大波 冴子<sup>1)</sup>、水田 保子<sup>1)</sup>、赤木 純一<sup>1)</sup>、鈴木 勇<sup>1)</sup>、西川 秋佳<sup>2)</sup>、  
小川 久美子<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター
- P-26\* 異なるフタル酸エステルのラットへの90日間併用混餌投与による肝臓と雄性生殖器への  
影響の用量反応性 . . . . . 75  
○鈴木 和彦<sup>1)</sup>、谷合 枝里子<sup>2,3)</sup>、盛田 怜子<sup>2,3)</sup>、八舟 宏典<sup>2,3)</sup>、三森 国敏<sup>4)</sup>、渋谷 淳<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>東京農工大学 獣医毒性、<sup>2)</sup>東京農工大学 獣医病理、<sup>3)</sup>岐阜大学連合大学院、<sup>4)</sup>食品安全委員会
- P-27\* *Coptis chinensis*のF344ラットを用いる90日間反復投与毒性試験および遺伝毒性試験 . . . . . 76  
○Kim Myoung Jun<sup>1)</sup>、Lee Yong-Hoon<sup>1)</sup>、Kim Duyeol<sup>1)</sup>、Park Sun Hee<sup>1)</sup>、Lee Hye-Yeong<sup>1)</sup>、  
Lee Mi-Young<sup>1)</sup>、Lee Mi Ju<sup>1)</sup>、Han Beom Seok<sup>2)</sup>、Kwon Min<sup>2)</sup>、Sohn Woo Chan<sup>3)</sup>、  
Seok Ji Hyeon<sup>4)</sup>、Lee Jong Kwon<sup>4)</sup>、Jeong Jayoung<sup>4)</sup>、Kang Jin Seok<sup>5)</sup>、Kang Jongkoo<sup>1,6)</sup>  
<sup>1)</sup>Department of Pathology, Biototech Co. Ltd.、<sup>2)</sup>Hoseo University Biomedical Laboratory Science、  
<sup>3)</sup>Asan Medical Center、<sup>4)</sup>Korea Food and Drug Administration、<sup>5)</sup>Namseoul University、  
<sup>6)</sup>ChungBuk National University

## 神経

座長：桑村 充 (大阪府立大学)  
乾 公正 (石原産業株式会社 中央研究所)

- P-28\* 急性および反復経口投与神経毒性試験における病理学的変化の背景データ . . . . . 76  
○相馬 克実、高橋 尚史、嶋田 悠子、小山 彩、桑原 真紀、小松 豊、藤江 秀彰、元村 淳子、  
首藤 康文、吉田 敏則、中島 信明、青山 博昭、原田 孝則  
(一財) 残留農薬研究所
- P-29\* クプリゾン投与マウスの脱髄及び再髄鞘化過程の超微形態学的解析 . . . . . 77  
○中村 隆一、西村 友成、落合 忍仁、幸田 修一、小笠原 裕之  
アスビオファーマ(株)
- P-30\* グリシドールのラットへの28日間反復投与による海馬歯状回におけるニューロン新生に  
対する影響 . . . . . 77  
○赤根 弘敏<sup>1)</sup>、齋藤 文代<sup>2)</sup>、白木 彩子<sup>1,3)</sup>、赤堀 有美<sup>2)</sup>、今田中 伸哉<sup>2)</sup>、板橋 恵<sup>1,3)</sup>、Wang Liyun<sup>1)</sup>、  
鈴木 和彦<sup>1)</sup>、三森 国敏<sup>1)</sup>、渋谷 淳<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>東京農工大学 獣医病理学研究室、<sup>2)</sup>化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所、  
<sup>3)</sup>岐阜大学大学院 連合獣医学研究科
- P-31\* Similar Expression Change of Midline1 on Neuronal Stem/Progenitor Cells Between  
Developmental and Adult-stage Hypothyroidism in the Dentate Gyrus in Rats. . . . . 78  
○Wang Liyun<sup>1)</sup>、白木 彩子<sup>1,2)</sup>、赤根 弘敏<sup>1)</sup>、板橋 恵<sup>1,2)</sup>、鈴木 和彦<sup>1)</sup>、三森 国敏<sup>1)</sup>、渋谷 淳<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>東京農工大学 獣医病理学研究室、<sup>2)</sup>岐阜大学大学院 連合獣医学研究科

## 系統差

座長：今井 俊夫（独立行政法人 国立がん研究センター）  
星谷 達（株式会社ボゾリサーチセンター）

- P-32 針状粒子TISMOの胸腔内投与による胸膜中皮細胞の反応性変化についてのマウス系統差 . . . . 78  
○横平 政直<sup>1)</sup>、中野 裕子<sup>1)</sup>、山川 けいこ<sup>1)</sup>、岸 宗佑<sup>1)</sup>、二宮 芙美子<sup>1)</sup>、竿尾 光祐<sup>1,2)</sup>、今井田 克己<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>香川大学 医学部 腫瘍病理学、<sup>2)</sup>回生病院 病理診断科
- P-33\* DHPN誘発肺発癌における慢性炎症の影響  
—F344ラットおよびWistar-Hannoverラットの系統差— . . . . . 79  
○中野 裕子<sup>1)</sup>、横平 政直<sup>1)</sup>、橋本 希<sup>1)</sup>、山川 けいこ<sup>1)</sup>、岸 宗佑<sup>1)</sup>、二宮 芙美子<sup>1)</sup>、竿尾 光祐<sup>1,2)</sup>、  
今井田 克己<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>香川大学 医学部 腫瘍病理学、<sup>2)</sup>回生病院
- P-34 Benzo[a]pyreneとDextran sulfate sodiumを用いたマウス大腸発がんモデルの研究：  
マウス系統間比較 . . . . . 79  
○園田 二郎<sup>1)</sup>、武田 賢和<sup>1)</sup>、羽倉 昌志<sup>1)</sup>、小山 直己<sup>1)</sup>、細川 暁<sup>1)</sup>、関 由妃<sup>1)</sup>、猪又 晃<sup>1)</sup>、  
中野 今日子<sup>1)</sup>、太田 恵津子<sup>1)</sup>、後藤 彩<sup>1)</sup>、早川 和宏<sup>2)</sup>、朝倉 省二<sup>1)</sup>、築館 一男<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>エーザイ株式会社筑波安全性研究部、<sup>2)</sup>株式会社サンプラネット安全性研究事業部
- P-35 ラット卵胞の形成および発育における系統差の検索 . . . . . 80  
○桑原 真紀、嶋田 悠子、相馬 克実、小山 彩、高橋 尚史、吉田 敏則、千葉 悠子、荒木 雅行、  
中島 伸明、青山 博昭、原田 孝則  
(一財) 残留農薬研究所 毒性部 病理研究室

## 免疫・骨髄

座長：尾崎 清和（摂南大学）  
鳥井 幹則（塩野義製薬株式会社 創薬・開発研究所）

- P-36\* SDラットに自然発生性に認められた巨核球低形成の一例 . . . . . 80  
○栃谷 智秋、岡村 啓史、豊沢 かおる、松本 泉美、河内 眞美、木村 重紀、船橋 斉  
大日本住友製薬(株) 安全性研究所
- P-37\* Capillaria hepatica実験感染モデルにおいて、Th2に偏向した宿主免疫はCG血症発症を  
促進する . . . . . 81  
○山田 萌<sup>1)</sup>、相原 尚之<sup>2)</sup>、樫村 茜<sup>2)</sup>、上家 潤一<sup>2)</sup>、代田 欣二<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>麻布大学 生物科学総合研究所、<sup>2)</sup>麻布大学 獣医学部 病理学研究室
- P-38\* 組み換えヒトインターロイキン-2のラットを用いる4週反復静脈投与毒性試験 . . . . . 81  
○Lee Mi Ju<sup>1)</sup>、Park Sun Hee<sup>1)</sup>、Kim Myoung Jun<sup>1)</sup>、Kim Hye-Jin<sup>4)</sup>、Li Yinghua<sup>1)</sup>、  
Ko Kyeoung-Nam<sup>1)</sup>、Kim Duyeol<sup>1)</sup>、Lee Yong-Hoon<sup>1)</sup>、Kim Sun-Hee<sup>1)</sup>、Jang Ho-Song<sup>1)</sup>、  
Baik Yeongjun<sup>2)</sup>、Lee Sunghee<sup>2)</sup>、Kang Jin Seok<sup>3)</sup>、Kang Jong-Koo<sup>4)</sup>  
<sup>1)</sup>Department of Pathology, Biototech Co. Ltd., <sup>2)</sup>BMI Korea、  
<sup>3)</sup>Department of Biomedical Laboratory Science, Namseoul University、  
<sup>4)</sup>College of Veterinary Medicine, ChungBuk National University
- P-39 Wistar hanラットにおける自然発生性胸腺腫 . . . . . 82  
○岩田 聖<sup>1,2)</sup>、Weber Klaus<sup>1,2)</sup>、Gaehle Susan<sup>1)</sup>、Anzai Takayuki<sup>1)</sup>、Maraschiello Ciriaco<sup>1)</sup>、  
Henderson Wendy<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>Harlan Laboratories Ltd、<sup>2)</sup>AnaPath GmbH

## 症例

座長：渋谷 一元（一般財団法人 日本生物科学研究所）  
平川 公昭（株式会社新日本科学）

- P-40 老齢牛眼症ウサギ4例の眼科検査と病理組織学的検討 ..... 82  
○姚 玉林、勝田 修  
参天製薬株式会社 眼科研究開発センター 安全性動態グループ
- P-41\* C57BL/6系マウスにおける実験的自己免疫性ブドウ膜炎の眼病変の病理組織学的解析 ..... 83  
○中原 豊、斉藤 直美、春日 敏郎、黒田 佳苗、串間 清司、能登 貴久、仲辻 俊二、松本 正博  
アステラス製薬(株) 安全性研究所
- P-42\* Hatanoラットにみられた自然発症性免疫介在性糸球体腎炎の1例 ..... 83  
○安野 恭平<sup>1)</sup>、小林 亮介<sup>1)</sup>、坂下 悠<sup>1)</sup>、荒木 さおり<sup>1)</sup>、代田 真理子<sup>2)</sup>、上家 潤一<sup>3)</sup>、代田 欣二<sup>1,3)</sup>  
<sup>1)</sup>麻布大学 生物科学総合研究所、<sup>2)</sup>麻布大学 獣医学部 比較毒性学研究室、<sup>3)</sup>麻布大学 獣医学部 病理学研究室
- P-43\* 老齢B6C3F1マウスの腎糸球体におけるメサンギウム赤血球貪食に関する検討 ..... 84  
○小林 亮介、山田 直明、爰島 洋子、土居 卓也、佐藤 順子、涌生 ゆみ、土谷 稔  
三菱化学メディエンス(株) 試験研究センター 病理研究部

## 症例・がん原性

座長：涌生 ゆみ（三菱化学メディエンス株式会社）  
笛木 修（(独)医薬品医療機器総合機構）

- P-44 NNK誘発マウス肺腫瘍結節内に認められた空胞に関する検討 -症例報告- ..... 84  
○山川 けいこ、岸 宗佑、二宮 芙美子、横平 政直、中野 裕子、今井田 克己  
香川大学 医学部 腫瘍病理学
- P-45 胸腔および腹腔に多発したB6C3F<sub>1</sub>マウスの中皮腫の1例 ..... 85  
○細井 理代、志賀 敦史、長谷川 和成、宮島 留美子、植田 芳英、太田 泰史、高見 成昭、奈良間 功  
(公財) 食品農薬品安全評価センター 試験部 病理臨床検査室
- P-46\* がん原性試験におけるICRマウスのアミロイドーシス発生状況及びアミロイドーシスと  
表皮剥離の関連 ..... 85  
○霜山 奈津美、山口 裕子、西原 香織、中澤 朋美、工藤 佳代子、田村 一利、星谷 達  
(株)ボゾリサーチセンター 病理部
- P-91\* 医薬品のがん原性評価の方法について-ICH S1 EWGにおける検討内容 ..... 107  
○野中 瑞穂<sup>1)</sup>、小川 久美子<sup>2)</sup>、小野寺 博志<sup>1)</sup>、中江 大<sup>3)</sup>、西川 秋佳<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>(独)医薬品医療機器総合機構、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所、<sup>3)</sup>東京都健康安全研究センター

## ポスター発表 II

第2日目 2月1日(金) 10:30~11:50

第2会場 [本館3F ジュピター]

## 肝

座長：泉 啓介 (徳島大学大学院・HBS研究部)

- P-47\* マウスの肝腫瘍病変におけるCytokeratin8/18およびCytokeratin 19の発現解析 ..... 86  
○串田 昌彦<sup>1,2)</sup>、Peat Tyler J.<sup>1)</sup>、Klaunig James E.<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>Department of Environmental Health, School of Public Health in Bloomington, Indiana University,  
<sup>2)</sup>住友化学(株) 生物環境科学研究所
- P-48\* PhenobarbitalとOrphenadrine併用投与によるラット肝発がんプロモーション作用の  
修飾に関する研究 ..... 86  
○盛田 怜子<sup>1,2)</sup>、八舟 宏典<sup>1,2)</sup>、赤根 弘敏<sup>1)</sup>、板橋 恵<sup>1,2)</sup>、白木 彩子<sup>1,2)</sup>、鈴木 和彦<sup>3)</sup>、渋谷 淳<sup>1)</sup>、  
三森 国敏<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>東京農工大学 獣医病理学研究室、<sup>2)</sup>岐阜大学大学院 連合獣医学研究科、<sup>3)</sup>東京農工大学 獣医毒性学研究室
- P-49\* ラット肝癌細胞におけるAcetaminophen誘導アポトーシスに対する  
細胞間コミュニケーションの関与 ..... 87  
○内木 綾、朝元 誠人、加藤 寛之、白井 智之、高橋 智  
名古屋市立大学 大学院 医学研究科 実験病態病理学

## 腎

座長：鰐淵 英機 (大阪市立大学大学院)

梅村 隆志 (国立医薬品食品衛生研究所)

- P-50 ポリミキシンBの投与経路の違いによる腎毒性発現の差 ..... 87  
○湯浅 敦子、丸山 裕子、梅屋 直久、日置 孝徳、佐藤 洋  
富士フィルム(株) 安全性評価センター
- P-51\* マウスにおけるコリスチンメタンスルホン酸による腎毒性の経時的变化の病理学的検討 .... 88  
○吾郷 恭平<sup>1)</sup>、倉田 靖<sup>1)</sup>、伊藤 富美<sup>1)</sup>、川村 祐司<sup>1)</sup>、野本 眞博<sup>2)</sup>、土屋 敏行<sup>1)</sup>、平塚 一幸<sup>1)</sup>、  
鈴木 幸吉<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup>Meiji Seikaファルマ株式会社 医薬研究所 安全性研究室、  
<sup>2)</sup>Meiji Seikaファルマ株式会社 医薬研究所 薬物動態研究室、<sup>3)</sup>Meiji Seikaファルマ株式会社 医薬研究所
- P-52\* オクラトキシンAが誘発する発がん標的臓器、腎臓の*in vivo*変異原性、アポトーシスならびに  
カリオメガリーに対するp53欠損の影響 ..... 88  
○日比 大介<sup>1)</sup>、木島 綾希<sup>1)</sup>、鈴木 裕太<sup>1)</sup>、金 美蘭<sup>1)</sup>、石井 雄二<sup>1)</sup>、小西 良子<sup>2)</sup>、小川 久美子<sup>1)</sup>、  
梅村 隆志<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部
- P-53\* gpt deltaラットを用いたオクラトキシンAの欠失変異誘発メカニズムの解明 ..... 89  
○黒田 顕<sup>1)</sup>、渡辺 麻衣子<sup>2)</sup>、日比 大介<sup>1)</sup>、石井 雄二<sup>1)</sup>、高須 伸二<sup>1)</sup>、木島 綾希<sup>1)</sup>、松下 幸平<sup>1)</sup>、  
能美 健彦<sup>3)</sup>、小川 久美子<sup>1)</sup>、小西 良子<sup>3)</sup>、梅村 隆志<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 衛生微生物部、  
<sup>3)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター

## 腎・膀胱

座長：倉田 靖 (Meiji Seikaファルマ株式会社)

- P-54\* 2型糖尿病モデルマウスの膀胱に認められた硝子滴に関する病理組織学的検索 ..... 89  
○小林 梓、川迫 一史、押方 孝文、可徳 小四郎、満石 三喜男、菅野 剛、浜村 政夫  
三菱化学メディエンス株式会社 試験研究センター 病理研究部
- P-55\* ラット膀胱発がん物質DMA(V)のin vivo変異原性の検討 ..... 90  
○藤岡 正喜、魏 民、山野 荘太郎、岡部 恭子、福永 賢輝、謝 暁利、鱈淵 英機  
大阪市立大学大学院 医学研究科 都市環境病理学
- P-56 2-エトキシ-2-メチルプロパンのラット膀胱発がんプロモーション作用の有無について ..... 90  
○今井 則夫<sup>1)</sup>、萩原 昭裕<sup>1)</sup>、土井 悠子<sup>1)</sup>、勝呂 繭子<sup>1)</sup>、玉野 静光<sup>1)</sup>、長野 嘉介<sup>2)</sup>、福島 昭治<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup>(株)DIMS医科学研究所、<sup>2)</sup>長野病理コンサルティング、<sup>3)</sup>中災防・日本バイオアッセイ研究センター

## 皮膚・乳腺

座長：勝田 修 (参天製薬株式会社)

上田 誠 (日本新薬株式会社 安全性・動態研究部)

- P-57 DMBA誘発ラット乳腺発がんに対する若齢期高脂肪食の影響 ..... 91  
○今井 俊夫、打屋 尚章、高橋 真美  
国立がん研究センター 研究所 動物実験支援施設
- P-58 グリシドール脂肪酸エステルによるラット乳腺腫瘍発生修飾作用の検討 ..... 91  
○Cho Young-Man<sup>1)</sup>、水田 保子<sup>1)</sup>、豊田 武士<sup>1)</sup>、大波 冴子<sup>1)</sup>、赤木 純一<sup>1)</sup>、鈴木 勇<sup>1)</sup>、西川 秋佳<sup>2)</sup>、  
小川 久美子<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立衛研 病理部、<sup>2)</sup>国立衛研 安全性生物試験研究センター
- P-59 雌性F344ラットにおけるDHPNおよびDMBAの複合投与による乳腺腫瘍発生の影響 ..... 92  
○岸 宗佑<sup>1)</sup>、横平 政直<sup>1)</sup>、中野 裕子<sup>1)</sup>、山川 けいこ<sup>1)</sup>、二宮 芙美子<sup>1)</sup>、竿尾 光祐<sup>2)</sup>、今井田 克己<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>香川大学 医学部 腫瘍病理学、<sup>2)</sup>回生病院
- P-60\* 高圧酸素環境下におけるマウス皮膚化学発がんへの影響 ..... 92  
○堂口 裕士<sup>1)</sup>、高松 玲佳<sup>1)</sup>、片山 亮介<sup>2)</sup>、齊尾 征直<sup>1)</sup>、吉見 直己<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>琉球大学大学院 医学研究科 腫瘍病理学講座、<sup>2)</sup>(株)武蔵野免疫研究所

## 細胞周期・シグナル伝達

座長：高橋 智（名古屋市立大学大学院医学研究科）  
田中 卓二（東海細胞研究所(TCI-CaRP)）

- P-61\* ラット二段階発がんモデルを用いた発がんプロモーション過程早期における細胞増殖、アポトーシス及び細胞周期関連分子の局在変化..... 93  
○谷合 枝里子<sup>1,2)</sup>、八舟 宏典<sup>1,2)</sup>、盛田 怜子<sup>1,2)</sup>、板橋 恵<sup>1,2)</sup>、鈴木 和彦<sup>3)</sup>、三森 国敏<sup>4)</sup>、渋谷 淳<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>東京農工大学 獣医病理学研究室、<sup>2)</sup>岐阜大学大学院 連合獣医学研究科、<sup>3)</sup>東京農工大学 獣医毒性学研究室、<sup>4)</sup>内閣府 食品安全委員会
- P-62\* ラットを用いた異なる発癌標的臓器における発がん促進時早期での細胞周期関連分子の発現特性..... 93  
○八舟 宏典<sup>1,2)</sup>、谷合 枝里子<sup>1,2)</sup>、盛田 怜子<sup>1,2)</sup>、赤根 弘敏<sup>1)</sup>、王 リユン<sup>1)</sup>、鈴木 和彦<sup>1)</sup>、三森 国敏<sup>3)</sup>、渋谷 淳<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>東京農工大学 獣医病理学研究室、<sup>2)</sup>岐阜大学大学院 連合獣医学研究科、<sup>3)</sup>食品安全委員会
- P-64\* Wntシグナルによる胃上皮細胞および胃癌細胞の分化・増殖制御に関する研究..... 94  
○平田 暁大<sup>1)</sup>、山田 泰広<sup>2)</sup>、富田 弘之<sup>3)</sup>、久野 壽也<sup>3)</sup>、村井 厚子<sup>4)</sup>、塚本 徹哉<sup>5)</sup>、山本 昌美<sup>6)</sup>、原 明<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup>岐阜大学 生命科学総合研究支援センター 動物実験分野、<sup>2)</sup>京都大学 iPS細胞研究所、<sup>3)</sup>岐阜大学大学院 医学研究科 腫瘍病理学分野、<sup>4)</sup>岐阜大学大学院 連合獣医学研究科、<sup>5)</sup>藤田保健衛生大学 医学部 病理診断科、<sup>6)</sup>日本獣医生命科 獣医学部 獣医保健看護学科 病体病理分野

## in vitro

座長：山手 丈至（大阪府立大学大学院）

- P-65 可溶性VEGFR-3デコイとSATB1 siRNAのマウス乳癌に対する転移抑制作用の検討：可溶性VEGFR-3デコイは乳癌転移を抑制した..... 94  
○柴田 雅朗<sup>1)</sup>、森本 純司<sup>2)</sup>、柴田 映子<sup>3)</sup>、藤岡 重和<sup>1)</sup>、斯波 真理子<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup>大阪保健医療大学 保健医療学部 解剖学・病理組織学研究G、<sup>2)</sup>大阪医科大学 実験動物センター、<sup>3)</sup>国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部
- P-66 アリルイソチオシアネート(AITC)暴露によるヒト乳癌細胞(MCF-7)におけるオートファジを伴った細胞死の誘導..... 95  
○朝元 誠人、内木 綾、高橋 智  
名古屋市立大学 大学院 医学研究科 実験病態病理学
- P-67\* ヒト肺がん由来細胞株移植マウスの腫瘍組織における上皮-間葉転換..... 95  
○山川 佳香<sup>1)</sup>、能登 貴久<sup>1)</sup>、小野 美穂子<sup>1)</sup>、坪田 健次郎<sup>1)</sup>、森 政道<sup>2)</sup>、上野 陽子<sup>2)</sup>、仲辻 俊二<sup>1)</sup>、松本 正博<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>アステラス製薬(株) 研究本部 安全性研究所 毒性病理研究室、<sup>2)</sup>アステラス製薬(株) 研究本部 薬理研究所 癌研究室

## ナノマテリアル

座長：吉田 緑（国立医薬品食品衛生研究所）  
佐藤 洋（富士フィルム株式会社 CSR推進部）

- P-68\* 粒子径の異なるナノ白金のラット経皮投与による皮膚病変の違い.....96  
○熊谷 文明<sup>1)</sup>、白見 憲司<sup>1)</sup>、丸茂 秀樹<sup>1)</sup>、今野 和則<sup>1)</sup>、吉岡 靖雄<sup>2)</sup>、堤 康央<sup>2)</sup>、斉藤 義明<sup>1)</sup>、  
桑形 麻樹子<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>(財)食品薬品安全センター 秦野研究所 毒性部、<sup>2)</sup>大阪大学大学院 薬学研究科 毒性学分野
- P-69\* モンモロロナイトを主成分とするナノクレイのラットに対する13週間混餌投与の影響 .....96  
○鈴木 勇<sup>1)</sup>、大波 冴子<sup>1)</sup>、Cho Young-Man<sup>1)</sup>、豊田 武士<sup>1)</sup>、赤木 純一<sup>1)</sup>、水田 保子<sup>1)</sup>、西川 秋佳<sup>2)</sup>、  
小川 久美子<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター
- P-70  $\gamma$ -オリザノール/グリセロール併用投与が磁性ナノ粒子マグネタイト気管内スプレー投与による  
ラット肺病変に及ぼす影響 .....97  
○多田 幸恵<sup>1)</sup>、矢野 範男<sup>1)</sup>、高橋 博<sup>1)</sup>、湯澤 勝廣<sup>1)</sup>、安藤 弘<sup>1)</sup>、久保 喜一<sup>1)</sup>、長澤 明道<sup>1)</sup>、  
猪又 明子<sup>1)</sup>、小縣 昭夫<sup>1)</sup>、中江 大<sup>1,2)</sup>  
<sup>1)</sup>東京都健康安全研究センター 薬事環境科学部 生体影響研究科、<sup>2)</sup>東京農業大学
- P-71 薬剤抵抗性癌細胞におけるP糖蛋白抗体によるクルクミン含有PLGA(ナノ粒子)の細胞取込み  
および細胞毒性の増強 .....97  
○Punfa Wanisa<sup>1)</sup>、Yodkeeree Supachai<sup>2)</sup>、Pitchakarn Pornsiri<sup>2)</sup>、Ampasavate Chadarat<sup>3)</sup>、  
Limtrakul Pornngarm<sup>2)</sup>  
<sup>1)</sup>名古屋市立大学 大学院 医学研究科 実験病態病理学、<sup>2)</sup>チェンマイ大学 医学部 生化学、  
<sup>3)</sup>チェンマイ大学 薬学部 薬理学

## 毒性試験

座長：志賀 敦史（公益財団法人 食品農医薬品安全性評価センター）  
柿本 恒知（日本たばこ産業株式会社）

- P-72\* ブドウ果皮抽出物の混餌投与によりみられたラット耳下腺・腺房上皮細胞における  
変化について.....98  
○井上 薫、高橋 美和、松尾 沙織里、田村 圭、森川 朋美、小川 久美子、吉田 緑  
国立衛研 病理部
- P-73 ガティガムのラットにおける90日間混餌投与毒性試験 .....98  
○林 新茂<sup>1)</sup>、Davis Jeffrey<sup>2)</sup>、Moser Glenda<sup>2)</sup>、Borghoff Susan<sup>2)</sup>、Giri Dipak<sup>2)</sup>、Maronpot Robert<sup>3)</sup>  
<sup>1)</sup>三栄源エフ・エフ・アイ(株)、<sup>2)</sup>Integrated Laboratory Systems, Inc.、<sup>3)</sup>Maronpot Consulting LLC
- P-74 RccHanTM:WISTラットの104週間飼育背景データ .....99  
○永池 美香、土屋 成一郎、乾 公正  
石原産業(株) 中央研究所 安全科学研究室
- P-75 1,1,1-トリクロロエタンの104週吸入暴露によるラット・マウスの発がん性 .....99  
○片桐 卓<sup>1)</sup>、高信 健司<sup>1)</sup>、妹尾 英樹<sup>1)</sup>、梅田 ゆみ<sup>1)</sup>、大西 誠<sup>1)</sup>、長野 嘉介<sup>2)</sup>、相磯 成敏<sup>1)</sup>、福島 昭治<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>中央労働災害防止協会 日本バイオアッセイ研究センター、<sup>2)</sup>長野毒性病理コンサルティング

## 筋・動物愛護

座長：岡崎 欣正 (AnaPath GmbH)

藤平 司郎 (株式会社化合物安全性研究所)

- P-76\* 脳動脈瘤血管内塞栓術用コイルの脊柱傍筋内埋植試験時における組織学的検索法の比較検討..... 100  
○磯部 厚志<sup>1)</sup>、寺尾 壽子<sup>1)</sup>、麻生 良平<sup>1)</sup>、早場 純子<sup>1)</sup>、田崎 雅子<sup>1)</sup>、井上 知紀<sup>1)</sup>、坂岡 篤<sup>1)</sup>、蟹沢 成好<sup>2)</sup>、萩原 仁美<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>テルモ株式会社 研究開発本部 評価センター、<sup>2)</sup>横浜市立大学医学部
- P-77\* 脳動脈瘤血管内塞栓用コイルの埋植試験から得られた長期試験実施時の知見と課題..... 100  
○麻生 良平<sup>1)</sup>、寺尾 壽子<sup>1)</sup>、早場 純子<sup>1)</sup>、磯部 厚志<sup>1)</sup>、田崎 雅子<sup>1)</sup>、井上 知紀<sup>1)</sup>、坂岡 篤<sup>1)</sup>、蟹沢 成好<sup>2)</sup>、萩原 仁美<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>テルモ株式会社 研究開発本部 評価センター、<sup>2)</sup>横浜市立大学医学部
- P-78\* ラットの吸入麻酔薬(イソフルラン)、腹腔内投与麻酔薬(メデトミジン・ミダゾラム・ブトルファノール混合剤)の4週間反復投与による影響..... 101  
○長谷川 也須子<sup>1)</sup>、久保田 久代<sup>1)</sup>、小林 健一<sup>1)</sup>、吉田 緑<sup>2)</sup>、宮川 宗之<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>(独)労働安全衛生総合研究所 健康障害予防研究グループ、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部
- P-79\* 発がん性試験における人道的エンドポイントの検討 ..... 101  
○嶋田 悠子、相馬 克実、小山 彩、高橋 尚史、桑原 真紀、吉田 敏則、川勝 尚夫、瀧澤 芳夫、武田 眞記夫、高橋 研、首藤 康文、上田 英夫、中島 信明、青山 博昭、原田 孝則  
一般財団法人残留農薬研究所 毒性部

## 骨・筋・甲状腺

座長：宮田 かおり (住友化学株式会社 生物環境科学研究所)

豊沢 かおる (大日本住友製薬株式会社)

- P-80\* 骨器官培養法を用いた薬物誘発性骨細胞毒性の検討 ..... 102  
○小島 康裕、二井 愛介、川上 詔夫、村松 大、南澤 由佳、北澤 郁恵、末廣 美紀、中島 真一  
生化学工業(株) 中央研究所 安全性代謝研究室
- P-81\* カテプシンK阻害剤およびビスホスホネート製剤のラットにおける骨組織への影響 ..... 102  
○香川 雄輔<sup>1)</sup>、久保田 恵<sup>1)</sup>、南澤 由佳<sup>1)</sup>、北澤 郁恵<sup>1)</sup>、村松 大<sup>1)</sup>、今井 恭子<sup>2)</sup>、中島 真一<sup>1)</sup>、二井 愛介<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>生化学工業(株) 中央研究所 安全性代謝研究室、<sup>2)</sup>生化学工業(株) 中央研究所 薬理研究室
- P-82\* Compound Xの回復性を示さない骨格筋障害..... 103  
○谷本 友恵<sup>1)</sup>、平尾 潤<sup>1)</sup>、山口 崇<sup>1)</sup>、後藤 真由美<sup>1)</sup>、伊藤 和美<sup>1)</sup>、新野 訓代<sup>1)</sup>、甲斐 清徳<sup>1)</sup>、森 和彦<sup>1)</sup>、梶淵 紀子<sup>2)</sup>、寺西 宗広<sup>1)</sup>、高崎 涉<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>第一三共(株) 安全性研究所、<sup>2)</sup>第一三共(株) 薬物動態研究所
- P-83\* ラット甲状腺の増殖性病変におけるThyroid transcriptional factor-1の免疫組織化学；腫瘍診断における有用性..... 103  
○見鳥 光、小野 美穂子、村上 雄一、竹内 文乃、井手 鉄哉、仲辻 俊二、大石 裕司、松本 正博  
アステラス製薬株式会社 安全性研究所 毒性病理研究室

## 症例

座長：藤原 利久 (田辺三菱製薬株式会社 安全性研究所)

- P-84 SDラットの顎下唾液腺に自然発生した上皮筋上皮癌の1例 . . . . . 104  
○Li Yinghua<sup>1)</sup>、Kim Hak-Soo<sup>1)</sup>、Kang Min-Soo<sup>1)</sup>、Shin Seo-Ho<sup>1)</sup>、Koo Kyo-Hwan<sup>1)</sup>、  
Kim Chul-Min<sup>1)</sup>、Kim Kap-Ho<sup>1)</sup>、Peck Charles<sup>1)</sup>、Bae Han-Ik<sup>2)</sup>、Jeong Ji Yun<sup>2)</sup>、  
Kang Jin Seok<sup>3)</sup>、Kang Boo-Hyon<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>Department of Pathology, Chemon Co. Ltd.,  
<sup>2)</sup>Department of Pathology, Kyungpook National University Medical Center,  
<sup>3)</sup>Department of Biomedical Laboratory Science, Namseoul University
- P-85\* ラット前胃に認められた腺胃, 小腸, 膵外分泌組織を混じた異所性組織の1例 . . . . . 104  
○加藤 祐樹、柏木 絵美、増野 功一、藤澤 可恵、松嶋 周一、高須 伸夫  
塩野義製薬株式会社 創薬・開発研究所 安全性研究部門 病理グループ
- P-86\* SDラットに自然発生した膵管もしくは胆管由来を疑う腺癌の1例 . . . . . 105  
○武田 周二、宮田 かおり、山田 智也、串田 昌彦、緒方 敬子、菊本 裕子、奥田 優、川村 聡  
住友化学(株) 生物環境科学研究所 生体科学グループ 病理チーム

## 症例・発達毒性

座長：金子 英志 (帝人ファーマ株式会社)  
桑原 真紀 (一般財団法人残留農薬研究所)

- P-87\* ラットEndometrial stromal sarcomaの多様性 . . . . . 105  
○隈部 志野<sup>1)</sup>、佐藤 順子<sup>1)</sup>、友成 由紀<sup>1)</sup>、橋本 知水<sup>1)</sup>、高橋 美和<sup>2)</sup>、吉田 緑<sup>2)</sup>、土居 卓也<sup>1)</sup>、  
涌生 ゆみ<sup>1)</sup>、土谷 稔<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>三菱化学メディエンス(株) 試験研究センター 病理研究部、<sup>2)</sup>国立医薬品食品衛生研究所 病理部
- P-88 Steroidogenic Factor-1により診断されたSprague-Dawleyラットにおける転移を伴う  
副腎皮質腺癌の1例 . . . . . 106  
○高井 有一、佐野 智弥、渡辺 武志、福田 良  
武田薬品工業(株) 医薬研究本部 薬剤安全性研究所
- P-89\* Busulfanに暴露されたラット胎児及び新生児の病理組織学的検索 . . . . . 106  
○斎藤 翼、安藤 亮、大平 東子、池崎 信一郎、星谷 達、田村 一利  
(株)ボゾリサーチセンター
- P-90\* ラット悪性線維性組織球腫(MFH)由来の異なるクローン細胞株(MT-8とMT-9)の  
免疫組織化学的及び網羅的遺伝子解析 . . . . . 107  
○小寺 喬<sup>1,2)</sup>、市川 智彩<sup>1)</sup>、Tennakoon Anusha<sup>1)</sup>、井澤 武史<sup>1)</sup>、桑村 充<sup>1)</sup>、越智 誠支<sup>2)</sup>、山手 丈至<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup>大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科、<sup>2)</sup>日本新薬(株) 安全性・動態研究部